

計画事業番号	00438	事務事業名	消防活動用資機材整備事業	担当部署	消防署消防1課	電話	7205
--------	-------	-------	--------------	------	---------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	一般高圧ガス保安規則第6条、容器保安規則第24条、酸素欠乏症等防止規則、消防組織法第1条及び第6条				
事務事業開始年度	昭和49年度	個別計画等	・軽量空気ボンベ更新 添付資料参照 ・AED更新 添付資料参照 ・化学防護服更新 添付資料参照				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境に つつまれた安全なまち	
	(第 5 節) 消防・救急体制の充実	
	(施策 1) 消防体制の充実	
2 対象	消防活動用資機材	
3 目的と内容	大規模・特殊災害に対応するために消防活動上必要な資機材を、災害特性並びに地域性を勘案して計画的に更新、整備し、隊員の安全管理を充実させるとともに、市民生活の安心・安全を確保する。	
4 実施内容 (手 段)	2 8 年 度 ま で	昭和49年から平成28年までの間、空気呼吸器28基と軽量空気ボンベ84本を整備した。 平成28年度は耐用年数の経過した軽量空気ボンベ1本と、化学防護服1着の更新を実施した。
	2 9 年 度	【軽量空気ボンベ】 軽量空気ボンベの耐用年数は15年と決められていることから耐用年数を経過した軽量空気ボンベ2本を廃棄し、更新分として2本購入する。 【救助用ポート】 救助用ポートは、導入から20年以上が経過し経年劣化が著しく、耐久性、気密性が低下しており、安全な活動を行うことが困難であることから、救助用ポートを更新する。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
軽量空気ボンベ1本更新 化学防護服1着更新	軽量空気ボンベ1本更新 化学防護服1着更新	軽量空気ボンベ2本更新 救助用ポート1艇更新	軽量空気ボンベ2本更新 AED2台更新	軽量空気ボンベ2本更新 AED2台更新	軽量空気ボンベ2本更新 AED2台更新	軽量空気ボンベ4本更新 AED2台更新	軽量空気ボンベ4本更新 AED2台更新

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	消防活動用資機材の維持管理を徹底するとともに、災害時において安全・迅速に活動できるように計画的に資機材を更新する。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			880		392		1,425		1,788	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	880		392		1,425		1,788	
	① 合計	880		392		1,425		1,788		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.36	0.00	0.36	0.00	0.36	0.00	0.36	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	3,024	0	3,024	0	3,024	0	3,024	0	
総事業費①+④			3,904		3,416		4,449		4,812	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 空気呼吸器	目標値	基	28	28	28	28
		実績値		28			
	② 軽量空気ボンベ(実績値は廃棄ボンベを相殺しての本数)	目標値	本	84	84	84	84
		実績値		84			
③ 化学防護服	目標値	着	5	5	5	5	
	実績値		5				
④ AED(車両積載用)	目標値	器	4	4	4	4	
	実績値		4				
成果指標	① 空気呼吸器 配備数/車両積載28基	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100			
	② 軽量空気ボンベ 車両積載28基/3替わり	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100			
	③ 化学防護服 現有数/救助隊1隊5名	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100			

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	酸素欠乏症等防止規則により、酸素欠乏が予想される災害現場では、空気呼吸器の装着が義務付けられている。また、化学汚染物質を伴う災害現場においては化学防護服は必要不可欠である。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	老朽化した空気呼吸器を計画的に更新し、また、耐用年数を超過したボンベは充填容量の多いボンベに順次更新されている。化学防護服についても更新されたことにより安全性が向上されている。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	計画的に資機材の更新が実施されることにより、消防隊員の安全性が確保され、また、災害現場においても機動性が十分に発揮され成果が向上される。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	消防活動上重要な資機材であり、また、常に隊員の生命に直接関わる状況下で使用する資機材であることから、経済性についてはそぐわない事業である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	--

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--